

「生活にお困りの方への支援」について（令和8年9月）

R8.9.16 長野県

■令和8年度6月補正予算「暮らしと産業を支える中東情勢対応方針」の「今後の低所得者に対するきめ細かな支援のあり方について部局横断チームでの検討に着手」並びに「信州未来・100日アクション」の「1 物価高騰等で苦しむ「生活者への支援を強化」します」を踏まえ、生活にお困りの方の状況を分析しつつ、多面的に検討を進めています。

■令和9年度当初予算での事業化等を目指しつつ、一部については、令和8年度9月補正予算等により先行して実施します。

＜支援を必要とする方の把握や支援の輪を広げる場づくり＞

- ◆ 民間事業者との連携により、**生活にお困りの方を把握し、地域全体で支援につなげていく仕組みの構築**を進めます。
(例：ライフライン事業者等の協力のもとに実施している「地域見守り活動」を活かし、生活にお困りの方の早期把握と支援機関への速やかなつなぎを図る)
- ◆ 支援団体・支援機関**相互のつながりを強めながら、様々な団体とともに支援の輪を広げるための連携の場**を作ります。

〈令和8年度中に設置〉

- ◆ 「信州ライフサポート連携会議」(仮称)を設置し、フードバンク団体等との連携促進や官民の役割分担、支援者支援の充実により、地域全体で生活にお困りの方を支える仕組み等について検討

〈令和8年9月10日開所〉

- ◆ 「信州こどもカフェ サポートセンター」を設置し、信州こどもカフェの立ち上げを始めとする相談対応、「食の定期便(試行的実施)」による寄付物資の円滑な流通、セミナーの開催、広報などにより、信州こどもカフェの円滑な運営を幅広く支援

＜現場の声を活かした支援策の拡充＞

- ◆ 支援現場の声を活かしながら、「衣食住」を中心に、「まいさぼ」をはじめとする**各機関の支援の充実**を図ります。

(例：ケアリーバーをはじめ生活に困窮する方の県営住宅の利活用の拡充、自立につながる家電製品など生活必需品の提供、医療機関の受診支援 (ほか))

《令和8年9月補正予算で対応》

- ◆ 長野県フードサポートセンター(ふーさぽ)の食料購入費を増額するとともに、新たにまいさぼ出張所での食料配布を実施し、地域の身近な場所で支援を受けられる体制を整備(予算額(案) 16,128千円)
- ◆ 県内フードバンク団体が行う、生活に困窮する子育て世帯への食料品等の配布活動に対して助成し、切れ目のない支援を実施(予算額(案) 38,224千円)

- ◆ 生活上の困難を抱える方それぞれの**特性やニーズに応じて、社会参加や就労等に結びつく取組を充実**します。

(例：「まいさぼ」と「JOBサポ」をはじめとする支援機関相互の連携強化や支援対象者・受入企業双方への伴走支援の充実、社会参加の機会の拡大 (ほか))

《令和8年10月中に設置》

- ◆ 「ダイバーシティ&インクルージョンワーク実現会議」(仮称)を設置し、多様な人材の就労を促進するとともに、一人ひとりが能力を発揮して活躍できる社会を創るため、短時間正社員制度、副業・兼業、一人多役などに係る制度面・運用面での問題点を整理し、関係者とともに多様な働き方の実現を推進

＜支援体制の確保＞

- ◆ 支援策の拡充や推進に必要な**各支援機関の体制確保**を図ります。